

様式 4

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書
(令和 2 年度 第 2 回学校運営協議会報告書)

鳥取県立米子東高等学校

校 長 田中 宏

評 価 日	令和 3 年 2 月 4 日 (木) 開催の学校運営協議会で代替	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1 今年度の自己評価(重点目標の達成状況、説明・公表)、 取組改善のための提言 (1) 全日制課程 ・ループリックに基づいたパフォーマンス評価の実施や、 期末考査の範囲をその学期全ての範囲とするなど、暗 記を避け思考力・判断力・表現力に重きを置いた授業 改善は高く評価できる。 ・「課題探究応用」では内外コンクールやコンペに積極的 に打って出ており、研究の質も向上している。 ・県下に先駆けて行ったオンライン授業は、授業進度の 確保や学力保障という観点からも大きな役割を果たし ている。「きちんと取り組めたか」の問いに 88%の生 徒が肯定的な回答をしており、大きな成果が出ている。 ・新型コロナウイルス感染症への感染予防対策が適切に 取られている。取り組みを継続すべきだ。 ・「掃除や挨拶にきちんと取り組んでいるか」の問いに、 91%の生徒が肯定的な回答をしている。規範意識の 高揚を図る取り組みを継続すべきだ。 ・ホームページの更新回数も増え、メディアで取り上げ られる機会も多く、積極的な情報発信が行われている。 ・時間外業務の削減が進んでおり、職員の働き方改革が 推進されている。取り組みを継続すべきだ。 (2) 定時制課程 ・進路が決定していない生徒に対しての指導を徹底し、 卒業生全員の進路保障をすべきだ。		I C Tを活用したアクティブ ・ラーニング型授業によっ て、「主体的・対話的で深い 学び」の実現に向けた授業改 善を引き続き行う。 打って出る目標と研究を結び つける取り組みを継続する。 生徒がオンライン授業に前向 きに取り組んだ結果、各学年 とも模擬試験の成績は好調で ある。 引き続き、感染予防対策を徹 底する。 お掃除マイスターによる講演 会や遅刻確認票を活用し、指 導を徹底する。 地域や保護者への情報発信を 引き続きタイムリーに行う。 会議の削減など業務の効率化 を進め、働き方改革を継続す る。 進路が決定していない生徒へ の個別指導を継続して行う。
2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の 状況について ・学校裁量予算が適切に執行され、特色ある教育活動が 活発に行われ、その成果も随所に見られる。		引き続き予算を適切に執行 し、特色ある学校運営を行う。